

## 知っていますか、環境を守る市民の運動

環境課環境保全係 ☎ (65) 1064

皆さんは「もったいない運動」に取り組んでいますか？ 必要なことだと分かってはいても、なかなか実践できていない人が多いのではないのでしょうか。市内には、もったいない運動の推進に積極的に取り組む市民団体があります。今回は、その中の一つの「鹿沼市環境活動推進会議」を紹介します。市民一人一人の協力が重要な環境活動。ぜひ皆さんも限りある資源を守る活動を始めてみましょう。

### 「鹿沼市環境活動推進会議」とは

もったいない運動を推進する市民会議のことで、平成21年に発足しました。環境関連団体はもちろんのこと、消費者団体や事業者など市民生活に関わるさまざまな人が参加しています。

活動内容は、「エコライフ・フェア in かぬま」や「環境講演会」といった環境イベントを開催し、環境保全や地球温暖化対策について普及・啓発などを行っています。



▲10月30日に、環境クリーンセンターで「エコライフ・フェア in かぬま2016」を開催しました。

### 主な取り組み ～3つの「もったいない運動」～

環境活動推進会議が取り組む「もったいない運動」。主に以下の3つの活動を行っています。このような地道な活動を続けることが地球環境の保全につながります。

その1

#### マイバッグの利用促進

レジ袋削減のため、市内のスーパー等でマイバッグ利用促進のキャンペーンを実施しています。



▲12月12日に、ヤオハン北部店でキャンペーンを行いました。

その2

#### ペットボトルキャップ回収

市内の公共施設や小中学校、イベントなどでペットボトルキャップの回収を実施しています。

回収されたキャップは資源化業者に売却され、その売上金で世界の子どもたちのためにワクチンが購入されます。



▲平成27年度は3,088人分のワクチンに相当する6,177kgのキャップを回収しました。

その3

#### レアメタル回収・啓発

主にイベント等で、携帯電話やノートパソコン、デジタルカメラなどレアメタルを含む小型家電の回収を実施しています。



▲ふる里あわの秋祭りで、小型家電やキャップの回収を行いました。

# シリーズ エコライフのすすめ

環境課総務係 ☎(64)3194

## 12 節水シャワーヘッドのすすめ

暦の上では春ですが、まだまだ寒さが続きます。「節水シャワーヘッド」でエコに冬を乗り切りましょう！



### ■ 節水シャワーヘッドとは？

吹き出し口を狭くすることで水の使用量を減らしています。節水効果が50%を超えるものも！

### ■ 使い心地は？

従来のシャワーとは一味違う優しい肌触りを体感できます。種類にもよりますが、敏感肌の人や赤ちゃんの入浴などに向いているものもあります。

### ■ 止水ボタンでよりエコに

多くの製品は、手元に止水ボタンが付いています。髪や体を洗う際は水を止め、節水を心掛けましょう。

節水シャワーヘッドは、水だけでなく、ガス（電気）代も節約できます。

ホームセンター等で購入でき、自分で簡単に付け替えることができます。

この機会に、節水シャワーヘッドで、地球にもお財布にも優しい生活をしてみませんか？

## 環境活動推進会議の 委員を募集します！

環境課環境保全係 ☎(65)1064

もったいない運動の推進や、環境イベント（エコライフ・フェアや環境講演会など）の企画・運営等に携わる人を募集します。

### ■ 応募資格

- ・20歳以上の市内在住者
- ・会議（年5回程度）、イベントの運営等に参加できる人

### ■ 任 期

平成29～30年度の2年間

### ■ 募集人数

2人程度

### ■ 応募期限

4月7日(金)まで

### ■ 申込方法

応募の動機、もったいない運動に対する考え方などをまとめた申込書を環境課（環境クリーンセンター2階）へ提出してください。

※申込書は環境課で配布します。

## 環境活動者 紹介コーナー

市内で環境の保全や美化などに取り組む団体・企業などを、環境活動推進会議の編集員が取材しました。【糸井・廣田・備仲・松島（敬称略）】

### ～中山間地の美しい郷づくりに取り組む～

なかいり ぬわ の みさと

## 中入栗野美郷の会

中入栗野美郷の会は、中入栗野の自然環境と農地を守るため、平成19年に地元の人や各種団体で設立されました。

主な活動として、農地周りの水路やあぜの草刈り、堀ざらいなどを行っています。近年は、増加する耕作放棄地の対策として、使われていない田畑を計画的に草刈りして耕し、作付け希望者に提供するなどの活動もしています。

現在、問題となっているのが鳥獣対策で、山裾の草を刈ったり、支部ごとに防護柵を設置し

たりしていますが、全ての鳥獣には対応できず、大変苦慮しているそうです。

会長は、「美しい郷づくりを目指して、地域の皆さんと協力しながら、自然環境や農地を守る活動を続けていきたい」と語ってくれました。



▲あぜの草刈り活動の様子